

# あつべつ 歴史クイズ

下の三枚の写真を見比べてください。四十年前にはのどかな田園風景が広がっていた新札幌周辺も厚別副都心開発基本計画により、札幌市の副都心として大きく変貌しました。厚別の開拓の歴史は、明治十六年までさかのぼります。今月は、厚別の歴史の中からクイズを用意しました。①～⑤の問題の空欄を仮名で埋めてみてください。



◀設立当時の  
信濃神社  
(明治30年ごろ)

## ① 厚別への入植

当時の厚別は、小高い所が密林、低い所は湿地帯だったといわれています。現在のJR厚別駅周辺に入植した長野県出身の河西由造をはじめとする八戸の人たちは、この地を切り開き田畑を開墾しました。由造たちの成功から入植者が次第に増え、この入植地は「信州開墾地」と呼ばれるようになります。この後、大谷地、野幌と開墾が進められていきました。

**問題：**河西由造たちが建立した信濃神社の旧社殿は、北海道○○○○の村に保存されています。

## ③

### 鉄道跡地を利用



▲旧千歳線(現在の厚別川虹の橋付近 昭和42年ごろ)



▲現在の新札幌



◀サンピアザオープン1年後(昭和53年ごろ)



◀青葉町5丁目付近より新札幌駅方面を望む。中央右の森が厚別区役所付近(昭和38年ごろ)

## あつべつ略年表

※太字は札幌市の主な出来事  
※①～⑤からクイズ出題

- 一八八三(明治16)年 厚別に長野県人ら入植
- 一八九一(明治24)年 **札幌に初めて電灯点灯** ①
- 一八九三(明治26)年 信濃簡易教育所開設(現信濃小学校)
- 一八九四(明治27)年 厚別駅開業
- 一八九六(明治29)年 厚別郵便局開業
- 一八九七(明治30)年 信濃・大谷地神社創立
- 一八九九(明治32)年 小野幌簡易教育所開設(現小野幌小学校)
- 一九〇〇(明治33)年 野津幌簡易教育所開設(現上野幌小学校)
- 一九〇〇(明治33)年 **札幌で電話通信開始**
- 一九一九(大正8)年 厚別で電力の供給開始
- 一九二二(大正11)年 **札幌に市制が施行**
- 一九二四(大正13)年 上野幌に宇納牧場開設
- 一九二六(大正15)年 野津幌(現JR上野幌) 駅開業
- 一九二七(昭和2)年 現ひばりが丘付近に馬場農場開設
- 一九五〇(昭和25)年 白石村(厚別を含む)と札幌市が合併
- 一九五〇(昭和25)年 第一回札幌雪まつり開催